

報道機関各位

熊本大学

『くまもとバイオメディカル関連技術・市場調査研究会』本日発足！

工学、医学の産学関係者を「医工連携」として結び付ける場としての研究会が熊本県工業連合会内に発足しました。研究会の座長は、宇宿功市郎（医学部附属病院教授医療情報経営企画部）、副座長は中西義孝（大学院自然科学研究科教授産業創造工学専攻先端機械システム講座）が務め、参加者間の意見・情報交換の場を提供します。

本研究会発足により、医工両分野の専門家との議論を通じて、参加企業の企画・製品開発力、更には機械加工、精密加工技術力の底上げにつながるとともに、新たなビジネスチャンスだけでなく人材の発掘、育成などが期待されます。

(1) 特色

本学工学部は、古くから機械加工や材料系の研究に強みを持ち、医学部は基礎及び臨床研究における幅広い分野で強みを持っています。このような組み合わせを持つ大学は国内においては、その数は多くはありません。また、医療向け工業製品の製造に求められる要素技術（切削・加工・研磨・メッキ等）は県内企業でも十分対応可能であり、本研究会により医療向けに高度化された企業の加工技術は、近い将来、航空宇宙産業や自動車産業の要素技術の高度化にも展開が可能です。つまり、本学医工両学部の強みを活かした医療エンジニアリングの技術研鑽を行うことで、地場企業の新たなビジネスチャンスに結びつけていける可能性を秘めています。

(2) 話題性

医療向け工業製品は、人工関節、人工骨、義歯、義足をはじめとして、多種多様な製品が存在していますが、そのような製品は生体に適合させる必要性があるため、医療機器等の製品を上市するためには、厚生労働省の許認可を得た上で製造販売するといった手間が生じてきます。また、製造過程においても、基礎的な要素技術の組み合わせにも関わらず、自動車部品等の加工技術に比べ、かなり高い精度と技術が要求され、投資に見合った採算が採りにくいと考えられがちです。しかし逆に言えば、将来、少子高齢化社会を迎えるにあたり、医療向け工業製品が必要となる潜在的患者数の増加が予測されるため、大きなビジネスチャンスが残されていると言えます。

問い合わせ先
熊本大学イノベーション推進機構
<http://kico.kumamoto-u.ac.jp/>
担当 長谷川（hasegawa@kumamoto-u.ac.jp）